

第4章 公害苦情

第4章 公害苦情

1 概 要

平成 28 年度の公害苦情受付件数は 317 件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が 94 件と最も多く、次いで大気汚染、水質汚濁、振動、悪臭の順となっています。(図 4-1-1、図 4-1-2)

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課や各区役所のまちづくり推進課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。今年度の各区役所のまちづくり推進課が対応した公害苦情は、63 件でした。

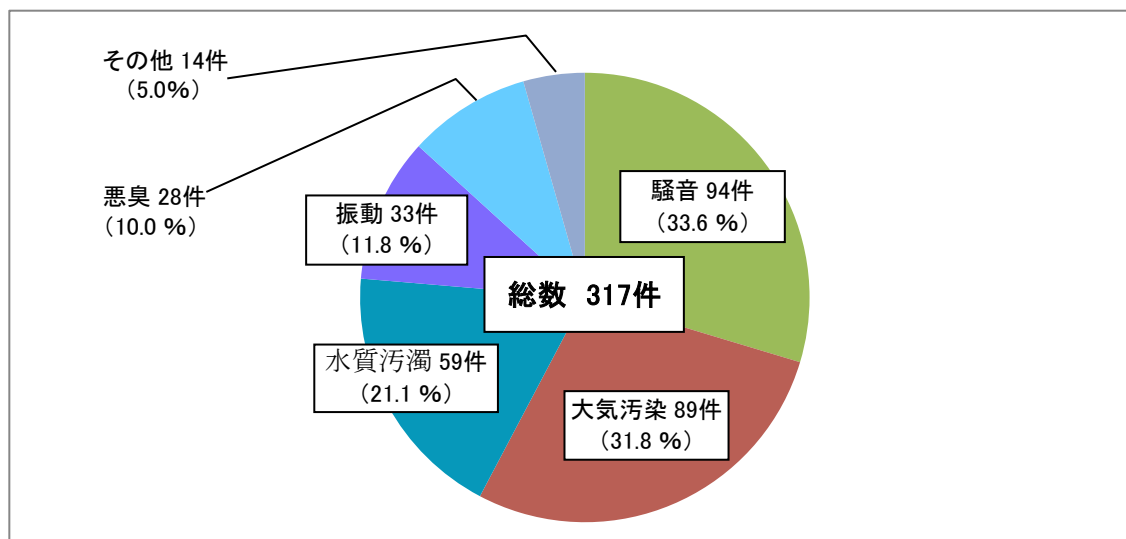


図 4-1-1 公害苦情の内訳(平成 28 年度)

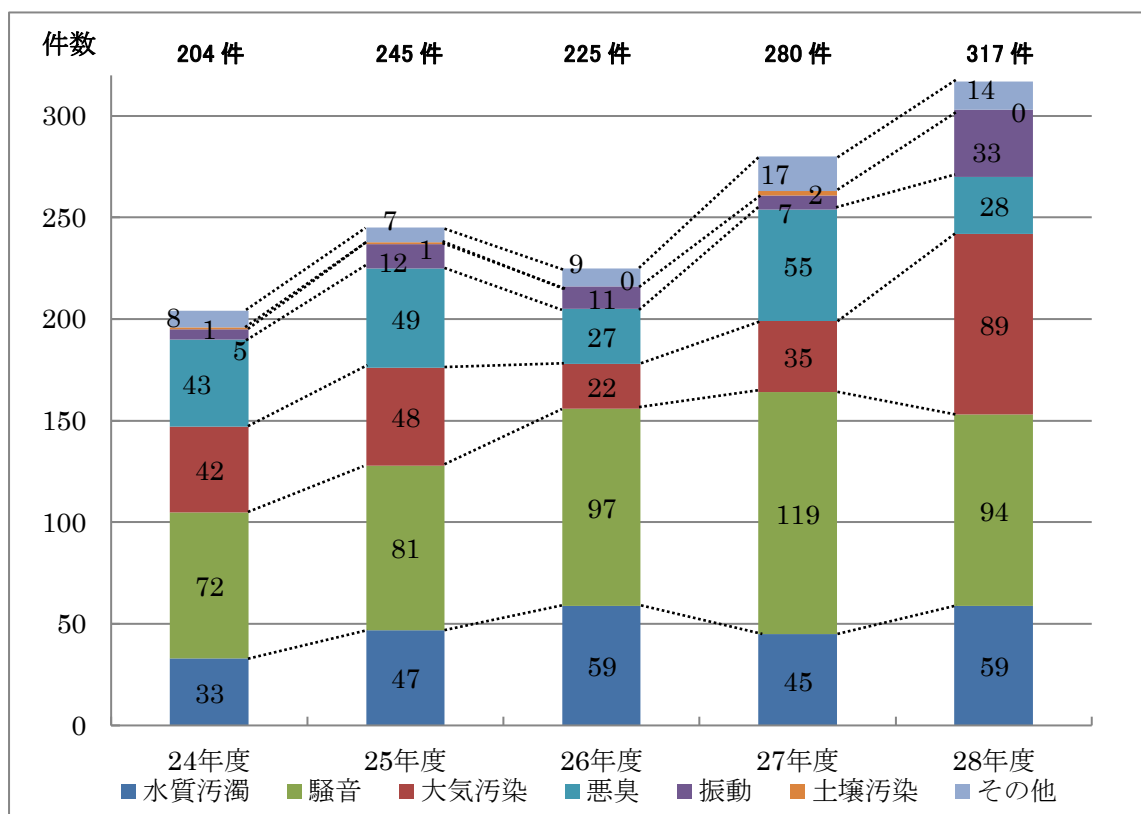


図 4-1-2 公害苦情件数の推移(平成 28 年度)

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は 89 件で、苦情全体に占める割合の31.8%でした。

発生源の主な原因は、建設・解体作業に伴う粉じんによるものが 41 件と最も多く、次いで建築物からのアスベストによるものが 13 件でした。また、廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所のまちづくり推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は 94 件で、苦情全体に占める割合は 33.6%でした。

発生源の主な原因は、建設・解体作業に伴う騒音が 52 件と最も多く、次いで飲食店等からの営業音が 10 件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は 33 件で、苦情全体に占める割合は 11.8%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が 25 件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は 28 件で、苦情全体に占める割合の 10.0%でした。

発生源の主な原因は、隣家のごみ・堆肥・薬剤等による臭いが 5 件、飲食店等の事業活動に伴う臭いが 4 件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、サービス業、卸売・小売業・飲食店、農業、製造業、運輸・通信業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が 25.6%と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や大気汚染、騒音、悪臭の発生源が特定できないケースが多いためです。(表 4-1-1)

表 4-1-1 公害苦情の発生源業種(平成 28 年度)

業種	公害の種類								合計	
	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他		件数	構成比(%)
農業	15	1	1	0	1	0	0		17	5.4%
林業	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%
漁業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%
建設業	4	41	52	25	1	0	2		125	39.4%
製造業	3	0	4	0	0	0	0		7	2.2%
電気、ガス、熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%
運輸・通信業	0	1	2	0	0	0	0		3	0.9%
不動産業	0	10	0	0	0	0	0		10	3.2%
卸売り・小売業・飲食店	2	0	10	0	4	0	1		18	5.7%
サービス業	8	5	3	0	1	0	2		19	6.0%
医療・福祉	0	0	1	0	0	0	1		2	0.6%
学習支援・公務	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%
家庭生活	0	13	5	0	5	0	1		23	7.3%
その他	0	0	3	4	4	0	1		12	3.8%
不明	27	18	13	4	12	0	7		81	25.6%
計	59	89	94	33	28	0	14		317	100.0%